

# ヌン活から 世界経済を考える

## イギリスとお茶と砂糖

就活、婚活、終活、菌活・・・というように、世の中では様々な活動を略語で呼びます。そのなかでも「ヌン活」という言葉を聞いたことがありますか？ホテルのラウンジ等でアフタヌーンティーを楽しむことをこう呼ぶそうです。サンドイッチやスコーン、スイーツとともに優雅な気分で香り高い紅茶を楽しむ、英国貴族感満載のアレです。

紅茶文化が伝統のイギリスでは、さぞかし茶をたくさん栽培してきたのだらうと思いませんか。実はそんなことはありません。イギリスの老舗紅茶ブランドの商品の多くは、ブレンドされた場所こそイギリスですが、ラベルを見ると茶葉の原産国はインド、スリランカ、中国等



## 長澤 勢理香

Nagasawa Serika

【研究テーマ】

近世・近代イギリス貿易史、  
大西洋奴隷貿易史



の外国になっています。イギリスで茶はほとんど栽培されていません。日照時間や気温の点で栽培に適していないのです。

自国で栽培していないにもかかわらず、イギリスでは紅茶が国民的飲料と呼べるほど飲まれています。コーヒーも好まれています。それでもやはりお茶を愛する国でしょう。(愛しすぎて cuppa (= cup of tea) という言葉まであります。) 17世紀に舶来高級嗜好品としてイギリスにもたらされて以来、輸入量が増加するのにしたがって茶は大衆化していきました。19世紀には砂糖をたっぷり入れた温かい紅茶を飲んで労働者たちは厳しい長時間労働に耐え、大英帝国の繁栄を支えました。カロリーとカフェインを手軽にチャージできる点では、現代のエナジードリンクのようですね。

現代のアフタヌーンティーでも砂糖をたっぷり入れたミルクティーが好まれ、さらにスコーンにつけるジャムやスイーツにも砂糖がふんだんに使われています。砂糖税を課して制限しなくてはならないほど、イギリスでは砂糖の消費量が多いのです。砂糖もまた、17世紀のイギリスでは舶来高級嗜好品でしたが、その消費量は飛躍的に増加して大衆化していきました。この砂糖に対する需要に応えたのが、カリブ海地域の砂糖プランテーションでした。紅茶と砂糖が出会ったことで、世界経済が動きます。



## つながる世界経済

悲しい歴史の話をしましょう。18世紀、イギリスはヨーロッパ最大の奴隷貿易国になりました。1807年に貿易が廃止されるまで300万人以上の奴隷をアフリカ大陸から奴隷船に「積み込み」ました。17世紀以来、イギリスの砂糖への旺盛な需要を満たすためにカリブ海の植民地では砂糖プランテーションが急増しましたが、奴隷はそこで砂糖生産のための労働力として貿易の対象となったのです。

奴隷制によって築かれた砂糖経済はプランテーションのイギリス人経営者を豊かにし、奴隷貿易の輸出品を生産する綿工業、貿易に付随する金融、保険、造船等、様々な産業を刺激して直接・間接的にイギリスの経済発展に寄与しました。砂糖プランテーションのほか、アメリカの奴隷制綿花プランテーションもまた、綿花を供給することで産業革命の舞台となったイギリスの綿工業分野を支えました。イギリスから西アフリカに綿織物等の工業製品、そこからカリブ海やアメリカに奴隷、そこからイギリスに砂糖や綿花を輸出する、いわゆる大西洋三角貿易がイギリスを豊かにし、その一方で西アフリカやカリブ海からは富や機会が流出したのです。

他方、イギリス経済はアジアともつながっていました。当初インドから綿織物を輸入していたイギリスは、産業革命によってより安価に自国生産できるようになり、イギリス産綿織物が逆にインドに輸出されるようになりました。それらの綿織物は、奴隷が生産した砂糖入りの紅

茶を飲んで活力を養う労働者が、同じく奴隷が生産した綿花（南北戦争以降はインド産綿花）を原料として長時間労働の末に生産したものでした。また、その紅茶は中国産でしたが、紅茶人気が高じて支払いのための銀が底をつくると、その解決策としてインドから中国にアヘンを送るようになったのです。イギリスからインドに綿織物、そこから中国に銀と後にアヘン、そこからイギリスに茶を輸出する、アジアの三角貿易です。

### 経済発展と歴史

以上の話に登場した国や地域のなかで、経済発展の面白い部分にあやかっただのはイギリスでした。イギリスから独立したアメリカは独自の道を進んで発展しましたが、他の国々は公式・非公式にイギリス経済に従属し、本格的な工業化や経済発展の機会を長年逃すことになりました。

イギリスの経済行動が西アフリカやカリブ海地域の経済発展に影響を与え、また逆にイギリスもそこから影響を受け、さらにアジアや北米に影響を与え、そしてそれがまた・・・と世界経済は密接に絡み合って相互連関的に発展してきました。優雅で甘いヌン活ですが、経済史の面から考えてみればその背後には苦い歴史があるので